

	成果	課題
視点1	<p>② 書く時間は十分とれていた。 書く活動で、考えを明確にできていた。積極的に発表できていた。</p> <p>③ 学習形態は話しやすい雰囲気だった。 話し合いでは互いに話をよく聞いていた。 発言を聞いていた。 様々な意見を述べていた。</p>	<p>③ 役割演技をさせた意味は？ぽんたの葛藤に自分を重ねられないまま進んでしまっていた。 役割演技の際に、発表した3名の児童の考えは、ともに「危ないから行ってはいけない。」というものだった。ぽんたの葛藤している気持ちについて考えさせられるよう「どうしよう」という迷いの気持ちを考えた児童がいたならば発表させられるとよかった。 役割演技で自分事としてとらえさせるのは、難しかった。 「悪いことなのだが、選んでしまうような魅力」が伝わると善悪の間で考えられるのではないか。 多様な意見が出るために、「秘密基地の魅力、きっと楽しいのだろうが・・・行ってはいけない。」ということ役割演技の前におさえておくよかったのではないか。 【秘密基地の魅力をおさえる⇒書く⇒役割演技】</p>
視点2	<p>② 吹き出しは1年生に合っていた。 書く量が適当だった。</p>	<p>① ファイリングは1年だけではなく、もう少し長くして変容を見るといいのではないか。 同じクラスで、学年の始めと終わりのほうに変容を見られるのではないか。 保護者にも見せるといい。</p>
その他	<p>挿絵とあらすじ、子ども達にとって分かりやすかった。</p>	<p>13人、全員発表できるとよかった。(大人がたくさんいて緊張したと思いますが・・・)</p>